

記者発表資料

ノリ色落ち対策としての緊急放流について

1. 緊急放流の背景

ノリ養殖業は、岡山県の水産業を支える基幹漁業ですが、本年度は年末から年始にかけて植物プランクトンの大量発生などにより、急激な栄養塩の減少に伴うノリの色落ちが大規模に発生しています。これまでにない危機的状況を緩和するため、岡山県知事から平成22年1月18日付「水第538号」において中国地方整備局長あてに苦田ダムからの緊急放流についての要請がなされました。

このことから、苦田ダムにおいて、下記のとおり緊急放流を行われます。

なお、吉井川水系水利用協議会関係各位においてもご理解を頂き、下記の事項について合意しています。

2. 実施事項

①放流時期

平成22年1月20日午前9時00分から1月24日午前9時00分までの4日間

②緊急放流量

苦田ダムから4.0m³/sの上乗せ放流を行います。

③その他

今回の緊急放流は、ノリ養殖業の危機的な状況を緩和するための緊急措置であり、今後の前例とするものではありません。

なお、岡山県として、放流の前日、放流中及び放流後にノリ漁場の塩分分布や栄養塩濃度の変化等を調査し、ダム緊急放流による栄養塩補給効果や効果範囲などを検証します。

[問い合わせ先]

○吉井川水系水利用協議会事務局

国土交通省 岡山河川事務所 TEL:(086)223-5101

副所長 植田 憲治

管理第一課長 長畑 利彦

○岡山県農林水産部水産課

岡山県庁 TEL:(086)224-2111

水産課長 田中 丈裕(内線3270)